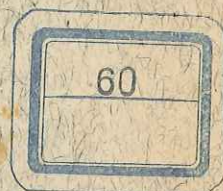


NOTE BOOK

RECORDING FOR VALUABLE DAYS OF ALL

敬学会賞第十九回入選作品

ハエの研究



6/1

庄

明子 司 庄

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP
MARUKYO'S <YÔ> NOTE



TOKYO

MARUKYO 30

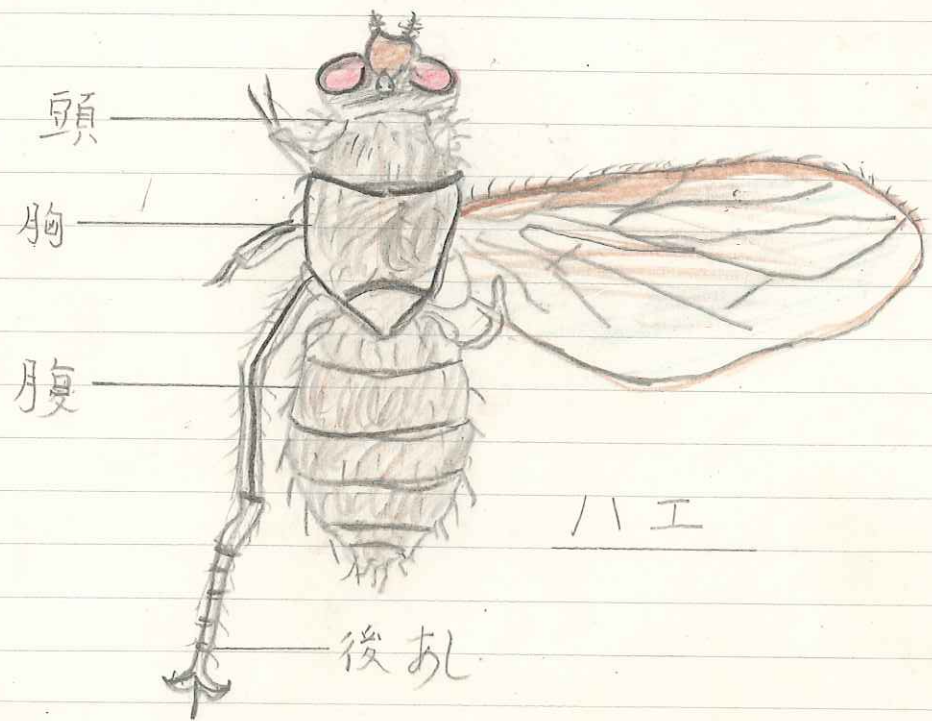
もくじ

1. どうき
2. 道具
3. 4. ハエのたまごを生むまで
5. ハエのたまご
6. ハエのしゅん
7. 8. ういゝハエのこころ
9. 10. ハエのこころ
11. 12. ハエのこころ
13. ういゝハエのこころ
14. 15. 16. せいちゅうとせなき
17. 18. せいちゅうとハエのそと
19. 20. ハエの部分図
21. せいちゅうと

人

どうき

1. 去年の研究は力をやりました。
力の研究をしているうちにだんだんとおもしろ
くなってきました。
力の研究はあんまりよくできなかったため
今年はハエの研究しようと思いました。



道具

イ. 小皿

ロ. 四角ガラスビン

ハ. 虫目かね

ニ. 金糸罟のふた

ホ. ガーゼ

フ. ビンセット

ト. 協力者---おとうさん

2. 使用した参考書---カとハエ

ハエとは

ハエも、カ、ブエ、アブなどと同じくそうしもくに属するこん虫です。しかしこれらは直くほうあもくという群にぞくします。かハエはまったくちがった群。かんぼうあもくというのにぞくします。つまり同じそうしもくではあってもいちいちな点でハエのちがひり進化した虫ということができましよう。そしてわたしたちがここでもか虫がきたないものに発生し成虫もきたないものや人の食物にたがふいわゆるえい生上の害虫にかぎると思います。

ハエの一生

ハエの一生はたまご、幼虫、サナギ、成虫という変たいをします。

そしてサナギから成虫になるときにはサナギの頭にあるまるいふたをおしあけて成虫が出てくるので「かんぽうあもく」という名は成虫がサナギからでるときぬい目かかんじょうという意味です。

ハエのあつめかた

ハエの成虫はごみ、たぬき、便所のまわりなどでほ虫あみをふればとれます。これをどくびんにうつしてとります。ガラス製のハエとりびんが金あみのかごの下に魚のはうわださけつをえさにするとたくさんのハエがはいります。

3、

8月10日

こくしはなにを研究しようかとまよいました。たがハエの研究をすることにしました。ママサウワからサンマを買ってきて、さうの上に外の日のあたるところにおいていましたがぜんぜんとまりませんでした。夕方までときどき見てまわっていましたがたまごを生みませんでした。

どうして「かかしぎ」に思っただけでよく見てみた。油がでてサンマが小さくなってひかりをひいていたので油がある魚はだめだとおもいました。

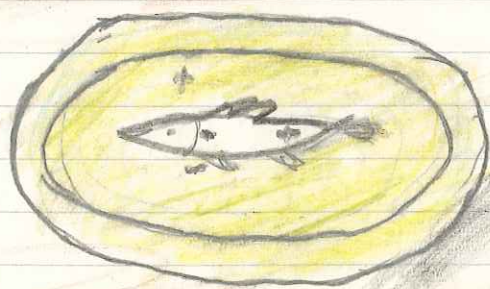
すこしいきのゆるい魚ほどよいと思いました。

4.

8月11日

今日もまたヤマザウからタラの切り身を買ってきてさうの上にのせて午前11時ころ外の日のあたるところにおきました。すぐにハエがとんできました。

金色のハエが四ひきとまっています。さかんにたらちの切り身の上を回るくはっていました。



サンマ

5.

たぶんさかなをたべているものと思います。そのうちのひきが魚のあいだにもぐりこみました。

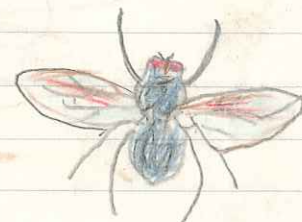
しばらくそっと見ていましたがなにをしているのかわかりませんでした。

ハエがとんでいったあとよく見ると白い点てんとしたものが三つほどありました。よく見るとたまごでは金バエが生んだたまごです。

キンバエのたまご



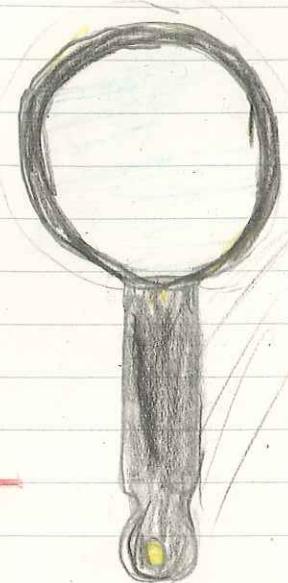
タラの切り身



キンバエのめす

6

虫いめがねで見たらつぶつぶになっていま
した。色は白にうすきいろがかっていま
す。



虫いめがね

たて8cm
よこ8cm. のむし
めがねです

ハエのしゅるい

- ① ヒメイエバエ ② イエバエ ③ ホホグロオビキンバエ
- ④ ヒロスズキンバエ ⑤ クロオビハナバエ
- ⑥ オオイエバエ ⑦ ルリキンバエ ⑧ ケブクオタ
- バエ ⑨ ヒメクロバエ ⑩ サシバエ
- ⑪ クロキンバエ ⑫ センチニクバエ

57

8月12日

朝 9時ごろ見たらたまごが少し大き
くなってひよる長くひとつひとつすき
とおって白く見えました。

たまごのいれものはさかなにつ
いているまま たて20cm よこ15cm
のガラスのいれものにそのまま
いれてかんさつすることにした。
下にすなと土をまぜていれました。
ガラスのふたにはガーゼのふた
おしてゴムでとめておきました。

ガラスビン



たて20cm
よこ15cm

8.

8月13日

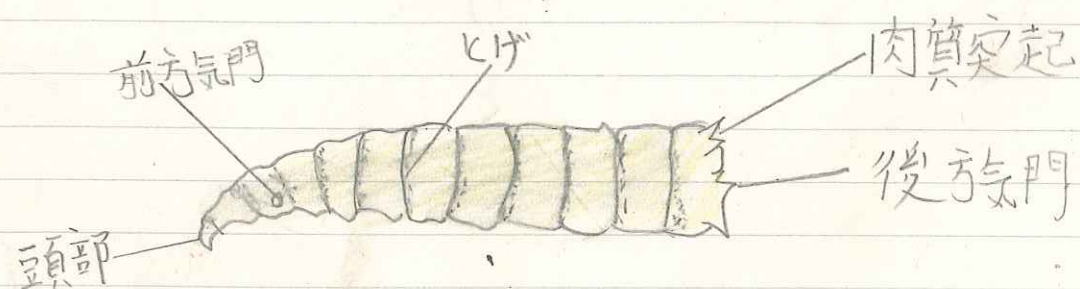
また朝9時ごろ見ると3mmぐら
いになってのこの歩いていた。

頭を見ると目もヒゲもありません。

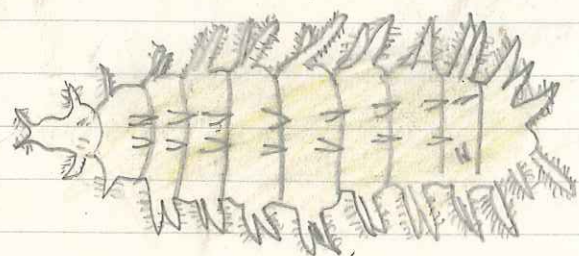
からだの中に黒いぶくぶくながち
ました。すきとおって見えます。

むねにあたるうぎの節には小さい
てぶくろのような前方気門というものが
見えます。

ムカ虫のこうそう



ヒメイエバエのムカ虫



9.

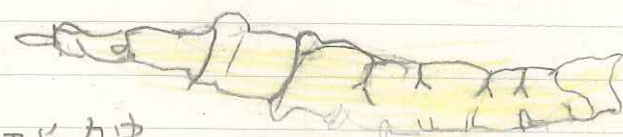
8月14日

朝9時ごろまた見てみると5mmぐら
いの大きさになっていてさびんによろこんで
はまわっているようでした。

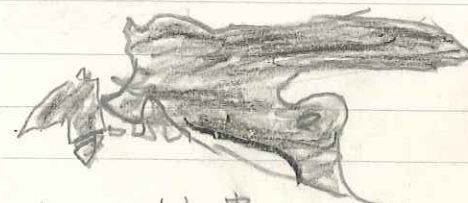
よく見るとすなの中にもぐっているのもい
ました。

はしでつついてほって見たらまたもぐつ
てしまいました。

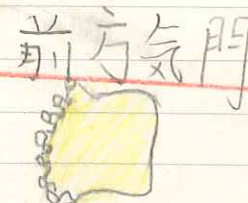
イエバエのムカ虫



クロバエムカ虫
の後めん



イエバエのムカ虫の頭部のほね



8月15日

だんだん大きくなっていくのがわかります。

ういはぼうふらなどどこがって頭と胸が小さくほそいほうのさきが頭で太いほうがしりです。体は小さいさきのとかった豆頁、ややほそながい胸、そのあとおよそ9節からなる腹があります。

シヨジヨウバエの幼虫



ハナアブの幼虫



ユウアオアブの幼虫



8月16日

ういは前方気門と後方気門とから空気をとり入れて呼吸しているのです。すながかわくのでたっしめんく水をしみにませていれました。

8月17日

ういは発育のところに2回脱皮します。これを目いるしに、その発育期を1令、2令、3令とわけることができ、この気門が1令では一つ、2令では二つ、3令では三つあります。

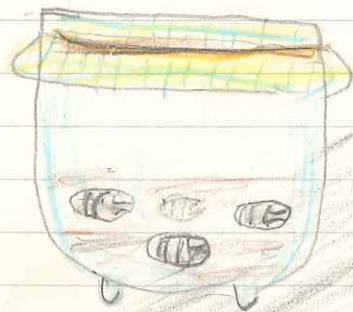
12.

8月18日

ういか"見えないので"ヒコセットで
 ほって見ると前より小さくなり色も
 がわってきました。

8月19日

朝すなの中を見るとあずきぐ"の
 の大きさになっていました。
 これはさなぎ"になったんだ"とお
 もいました。



金ば"えのさ
 なぎ"

13.

8月20日

そろそろハエになるがうとおとうさんが
 いったので、わたしはハエになっても
 飛んでいかないうに金あみのふたを
 しておきました。

成虫さなぎ

14、

8月21日

さなぎの色が少し変わったような
気がしました。

ハエには人や家ちくの血をすったり
ムカ虫がその体に寄生して病気をお
こしたりするものもあります。

アフリカにいるツェツェバエというのは
すいみんちやうというおそろいでん
せんちやうおつたえす。ハエ類の多
くはふんてんなどにたかり足や口にた
くさんのバイキンをつけそれを食器
や食物におとしていくので大へん
ふけつな虫であることはいうまで
ありません。

15、

8月22日8月23日

さなぎは前よりも小さめになり
色も茶ぐろくなりました。



46

8月24日

朝早くおきて見たら4匹きハエに
なっていました。

よくすなの上を見たらまた「さなぎ」
が頭のまるいふたをおしあけて
大きな目とまのむしがはいたし
ていました。わたしはいは「うそ」
だ「まって見ていました。だん
だんとかうからぬけたしてはじ
めは、はねもちでんで色も白い
ですがややしは「うそ」したら
はねがわが本ういの色もつい
てかうは「うそ」にといはじめました。
ぜんぶで8匹き生まれました。

17

めまぐるしいほどビンの中を
ぶんぶんと音をたててとひまわ
っていました。

なんと「かきたない」と思うかん
いはしないうて「すず」外にで
たら、くされたさかなやこ「み」を
たぐるの「いやだ」と思いました。

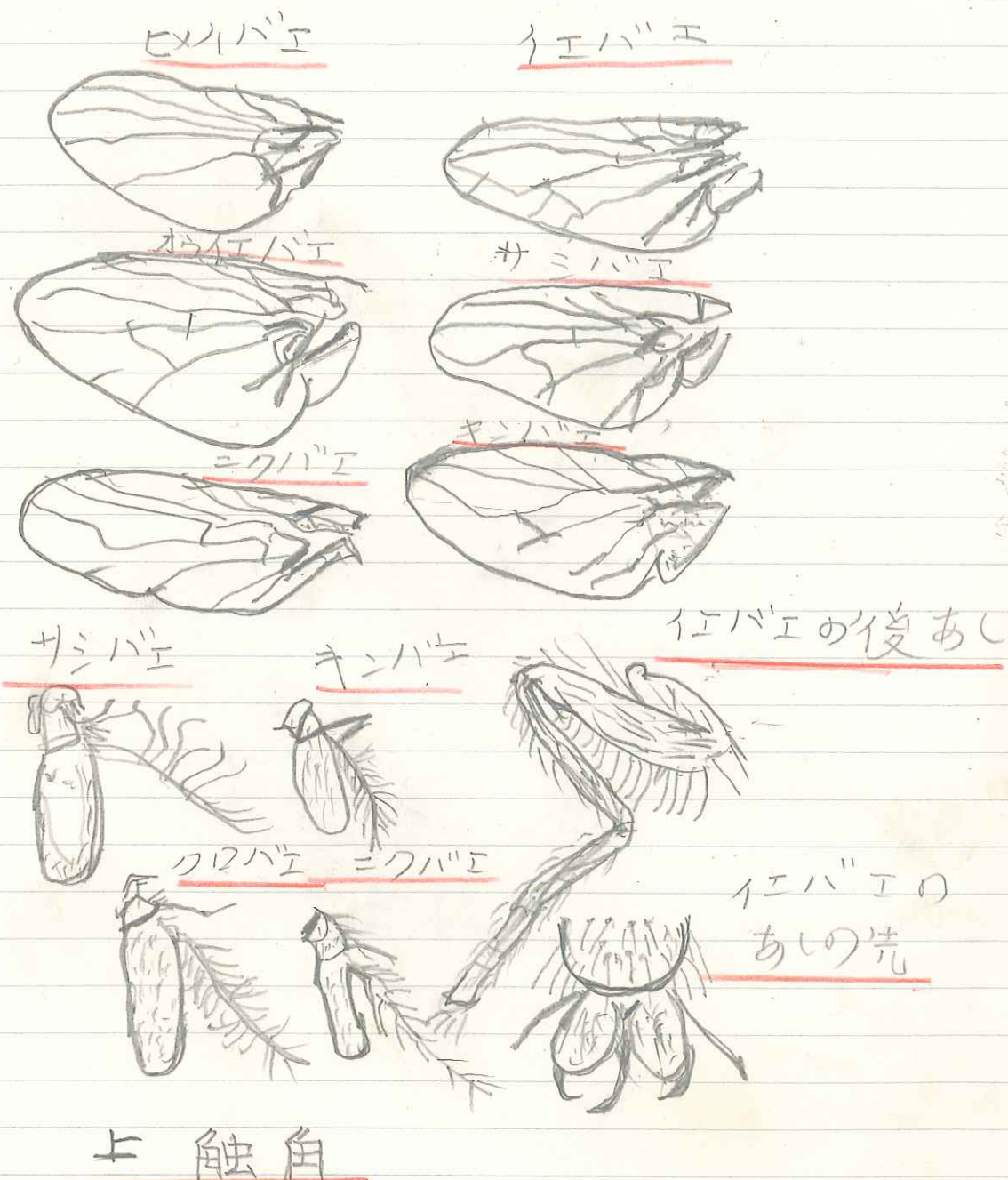


18、

ハエのそと"ち"方

ハエはくさったさかなやご"みた
わべ"人新など"によ"ち"からてたま
ご"を生みつけます。たまごは一日ぐ
いでうい虫になりくさたものを
食べて大きくなります。
うい虫は大きくなると近くの土
の中にもぐってさなぎ"になります。

19、

ハエの部分図

20、

まとめ

ハエの生活をよくかんさつするには、やはりからてみるのが一番よいと思います。

ハエのたまごは、温度によってたいへんちがいます。

うじは毎日どんどん大きくなります。

てきとうな水分とすなわち餌を必要とします。

たまごがうちはおよそ1週間ぐういでハエになります。

21

わかったこと

たまごを生ませようとする魚は、いぢからいものはだめでした。

あんまり油のある、いきのよい魚もだめでした。

ハエもしゆるいによつてよく物や燃せりする場所がちがうことがわかりました。

くろうしたことその他

- ① ハエがたまごを生みおはつてから魚がくされてにをいがかふんぷんしてみんなずうくさいくさいといわれたこと。

② いもしかたくさん出てき
もちがわるいといわれること

③
はいめにたまごを生ませよう
としたときなかなか生まなかつた
こと

おとつん

サトウハチロー